

## 平成29年度第2回学校協議会議事録

平成29年度10月20日（金）15:40～17:00

○開会

○委員長あいさつ

○校長あいさつ

○協議

①平成29年度「本校の学校経営計画」進捗状況

（校長） 規則正しい生活、遅刻指導、身だしなみについて、改善にむかっていると思われる。年度末にむけて効果が出るのではないかと考えられる。

生徒の相談機会を増やすことを目的に、スクールカウンセラーの活用、支援部の教員による昼休みの相談体制づくりを行った。今後も継続していく。

アビリンピックは今年度、上位の入賞はなかったが全員が力をのばしていくことができるようにする。

共生推進校の文化祭に参加した。クラブでの交流はできていないが、共生の生徒がとりかいのサッカーチームに入って大会に参加した。

入学した生徒が全員就職を希望して欲しい。そのために中学校に、より本校の趣旨をわかってもらえるように高校の説明会にも参加するようにしている。

（委員） 個別の指導計画や個別の支援計画はどのような形式になっていて、どのように活用されているか教えて欲しい。

（事務局） 入学時に保護者と担任で優先課題を設定し、自立活動、各教科の指導目標につなげていく。中学校から90パーセントくらいはあがってくるようになった。

作成したい学校あるというのが一番の課題。支援学級に在籍していなくて作られていないということがある。

（委員） 3年間で社会生活に必要なスキルを身につけることが求められる。アビリンピックの結果は？

（校長） 摂津が知事賞を受賞した。 昨年はとりかいても市長賞を受賞した。

出場できる枠が少ない。小中高そろった支援学校の高等部に職業科があるので他府県ではそこでスキルをみがいている 大阪ではそのような大会は少ないのでは。

(委員) 企業も懸命に従業員のスキルの修得に取り組んでいる。そのような中で支援学校の生徒が入賞していているのはすごいことである。

(委員) 教員の資質向上の取り組み具合は？

(校長) 長期休みに初任研等で教員が企業に出向いて研修を受けている。行く前はハードルが高いようだが行ってみるとよい経験だったという感想が多い。できれば継続して取り組みたい。

(委員) 自治会としてはこちらの学校がどう運営されているか細かな点までわからない。ひとつ言えるのは、以前の高校のときと比べ自治会への苦情はいっさいあがってきていない。近隣住人に学校のことをもっと知ってほしいと思っている。

(校長) 昨年から学校祭が摂津と分かれてしまった。来校者を増やすにはどうしたら良いかを考えた。自治会でチラシを十数か所の掲示板に貼ってくださるとのこと。地道に発信を続けていくことが大事なのではないか。摂津市さんからも活動のお話をいただいている。

(委員) 伝統野菜を栽培して紹介すると町内会の方々がくると思います。

(委員) 共生推進校について教えてください。

(事務局) 北摂つばさと千里星雲生徒が毎週火曜日に来る。学科の授業でとりかい生徒と交流している。文化祭にも参加して、とりかいなすを販売した。学科で製作した商品を生徒が出向いて販売した。

(委員) まとめとして がんばってやっておられると思う。進めていただいて、地域に開く、発信していく、連携していくということをやっていただきたい。

## ②授業参観アンケートの結果について

(教頭) 保護者対象に4月の日曜参観、7月授業参観週間でアンケート回収したものを一覧にまとめた。授業改善の参考にしたい。概ね授業の内容については好意的な感想が多かった。特にご意見はなく、授業の中で留意してほしいこと、指導の方向性についてあがっていた。後期も実施予定である。

(委員) 肯定的に捉えていただいているという印象。出された意見は真摯に受け止めて

改善につなげて行ってほしい。

(事務局) 4月の授業参観の提出数は多かった。安心して帰られたのではないかと思う。しかしながら7月の提出は少ない。

(委員) 高等部段階では保護者が足を運ぶことは減ってくるのではないか。

## ②学校教育自己診断案について

(事務局) 自己診断アンケートの保護者・生徒・教員の質問項目についての説明。実態に合わせて文言等を若干変更している。12月に配付し年内に回収し、第3回学校協議会で分析結果を公表。

(委員) 他校と対比したことはありますか。

(事務局) 他校と比べてはいないが、毎年度見直しをしている。

## ③進路の取り組みについて

(事務局) 1期生～3期生の進路状況について説明

(委員) 1, 2期生 企業開拓されているのがすごい。会社を開拓する努力は大変である。遅刻不登校の生徒もいたが、就労して半年経ってどうか？

(事務局) 離職している生徒もいる。生活リズムが変わり、新しい生活になじめないことが大きな原因である。

(委員) うちも職業訓練をやっているが、就労という新しい環境で住居も変わる。一緒に新しいことを2つやるのはむずかしいのではないか。児童福祉から障がい者福祉へと行政も変わる。見習ってがんばっていきたい。生活基盤の影響は大きいのではないか。

(委員) よくやられている。健常者でも高校を出て職業についたときに、どれだけ自分で生きていこうかと意識することはむずかしいかと思う。

(委員) 1年生から継続的に指導されている。求人対策をがんばっておられる。どのような人材を求めているかわかるとマッチングできる。効率的にできるのではないかと考える。

(委員) 学校見学セミナーは3年目になる。もう「とりかい」は十分情報発信できているのではないかと考える。そろそろ公的支援がなくとも充分やっているのでは。非常になんばっておられる。

(委員) キャリア教育が重要なテーマになっている。キャリア教育とは何であるかと、実践できること、キャリアステージを持っていることが大切である。積み上げていくプログラムがあるとよりよいものができてくる。ビジネスマナーや働く意欲、余暇の活用の重要である。「進路学習」は「進路学習」というカテゴリーになっていない。ぼやっとしている。金銭管理など 就労要因としての6つのカテゴリーがある。単に働く力をつけるためにこの学校があるわけではない。よりよく社会人として生きるための力。トータルでみるようなステージ表があっても良い。すぐに就労でなくてもそれはそれでいいと思う。いろいろな選択肢が必要。大きな視点でとらえてほしい。このような学校の場合、就職率が求められるが、教育の場での大きな視点、軸を持ってほしい。

#### ○まとめ

(事務局) 学校からの報告が長くなりがちなので、次回は学校からの報告はコンパクトにまとめ広くさまざまな意見交換したいをお願いします。